



第40回全日本シニアソフトボール大会激励会 激励会 9月15日(火)



10月10日(土)から13日(火)に三重県で開催の全日本シニアソフトボール大会に出場する、(写真右)楠法裕さん(東谷)、岡田良詞さん(湯尾・稲荷 当日欠席)の激励会が行われました。齋藤教育長から激励を受け、楠さんは「昨年は1勝を挙げており、今年はぜひ2勝することを目指したい」と力強く大会への意気込みを語りました。

災害時の情報発信ツールの強化

NPO法人たんなん夢レディオと災害緊急放送に関する協定 締結式 9月16日(水)



町では、災害発生時に町内CATVの副音声やたんなんFM放送の緊急放送発信を目的にたんなん夢レディオと協定を締結しました。締結式では、たんなん夢レディオの(写真左)菅原藤理理事長と協定書を交し、仲倉町長は「災害時には情報を届けることが極めて重要で、様々なツールを通し、町の安全・安心につなげていきたい」とあいさつを述べました。

つるし柿の伝統をこれからも

今庄つるし柿サポーター説明会 9月26日(土)



今庄つるし柿生産者の担い手不足解消に向け、つるし柿の生産やサポート活動に意欲をもつ方を対象とした、生産工程等の説明会がリトリートたくらで開催されました。説明会は昨年に引き続き2回目の開催で、「燻す」という伝統やこれまでの歴史が紹介され、他にはない今庄つるし柿の魅力を学んでいました。また、つるし柿の生産工程で使用する燻煙室の案内も行われ、参加者は興味深く見学していました。

努力することの大切さを学ぶ 子ども未来創造事業 9月16日(水)



町内の小学校高学年と中学2年生を対象に元トップアスリートを招いた教室が各学校で開催されました。湯尾小学校には、元女子バレーボール日本代表の井上香織さんが訪れ、体育館と教室で授業を行いました。井上さんは、オリンピック出場を夢に、自分の得意分野を磨いた経験を話しながら、夢を叶えるために努力することの大切さを児童に伝えていました。

科学技術への興味・関心を高める

福井大学との包括連携協定に基づくドローン体験授業 9月24日(木)



町では、今年3月に福井大学と包括連携協定を締結し、医療や教育、産業など各分野における相互協力を図っています。今回、同大学教育学部の栗原一嘉教授が町内の小学校を訪れ、5・6年生を対象としたドローン体験授業が開催されました。児童はコントローラーを使ってドローンの離着陸や目的場所までの移動など、操縦に悪戦苦闘しながらも科学技術の面白さに目を輝かせていました。

秋の空を颯爽と駆け抜ける

ツール・ド・ふくい2026 10月4日(日)



自然豊かな福井県を楽しむサイクリングイベント「ツール・ド・ふくい2026」が、今庄365スキー場を発着点に開催されました。コースは琵琶湖や若狭湾、三方五湖を巡る約190kmのロングコースなど3部門が設けられ、秋の自然豊かな道を駆け抜けていました。また、南越前町内の各スポットを巡る謎解きサイクリング部門には多くの親子連れが参加し、目的地に向かって軽やかにペダルを漕いでいました。



釣りの腕を競う

エギング大会 in こうの2026 10月4日(日)



河野地区の越前海岸線一帯を釣り場に、エギング大会が開催されました。当日は、曇り空の絶好の釣り日和となり、参加者は次々にアオリイカを釣り上げていました。表彰式終了後は、全員参加のゲーム等も行われ、会場は大いに盛り上がりを見せていました。参加者は「また来年も会おう」を合言葉に、互いの健闘を称え合っていました。

戦没者を悼み、平和への誓い新たに

南越前町戦没者追悼式 10月7日(水)



南越前文化会館で戦没者追悼式が挙行されました。仲倉町長は「今日の平和と発展は、多くの尊い命の上に成り立っている。戦後81年が経過し、戦争を知らない世代が増える中、戦争の悲惨さと平和の尊さを心に刻み、次の世代へと継承していかなければならない」と式辞を述べました。参列した遺族は祭壇に献花を行い、手を合わせ、戦没者を追悼し、恒久平和を祈りました。



南越前町敬老会 ～いつまでもお元気で～



町内各地区で敬老会が開催され、長年にわたり社会や地域の発展に尽くされた皆さまの長寿と健康を祝いました。式典では、米寿を迎えられた方と金婚のご夫婦に仲倉町長からお祝い品が贈呈され、会場からは大きな拍手が送られていました。また、アトラクションでは園児による元気な歌と踊り、健康セミナーやトランペット漫談が披露されました。参加者はアトラクションを楽しみながら、親しい仲間との歓談に笑顔があふれていました。

河野地区

9月17日(木) 河野住民センター



今庄地区

9月24日(木) 今庄住民センター



南条地区

10月1日(木) 南越前文化会館



災害に備え、防災資器材と防災倉庫を整備しました

脇本区自主防災会が、災害発生時に必要となる防災用資機材および防災資器材を保管するための防災倉庫を脇本活性化センター隣の公園内に整備しました。なお、この整備は、宝くじ助成金を活用して実施しました。



問合せ 総務課防災安全室 ☎ 0778-47-8016